

アサザプロジェクトに関連する書籍紹介

NPO法人アサザ基金

2010年～2013年に刊行された書籍

	<p>原宿表参道2013 水と緑が協生するまちづくり</p> <p>定価：2,000円+税</p> <p>発行：(株)産学社</p> <p>商店街振興組合原宿表参道櫛会が、40周年記念誌として発刊しました。何かまちの未来像の方向性を示すものを表現できないかと考えたものです。飯島が執筆した記事「原宿表参道から世界に発信するSATOYAMAビジョン -都市を里山化する-」が掲載されています。ぜひご覧ください。</p>
	<p>POCO 21 11月号</p> <p>この人が語る</p> <p>定価：200円+税</p> <p>発行：パルスシステム生活協同組合連合会</p> <p>100万人以上の飲み水が放射能汚染される可能性に直面する霞ヶ浦の今 同じ失敗を繰り返そうとしている政治・官僚機構の無策ぶりを打破するのは、縦割りにとらわれない発想と行動力による「市民型公共事業」である。木村麻紀編集長が飯島取材した記事が掲載されています。ぜひご覧ください。</p>
<p>吉田きょう 授の均衡財政と公会計</p> <p>子供にツケをまわさない！</p> <p>吉田 寛</p> <p>定価：500円+税</p> <p>発行：公会計研究所</p> <p>公認会計士 吉田寛氏が所長を務める公会計研究所発行の冊子。「この人ではないのか？」と題し、成果を説明することの重要性を示すために、霞ヶ浦における国交省の仕事とアサザ基金の活動が例として紹介されています。</p>	 <p>日経コンストラクション</p> <p>2012.10.8号 No.533</p> <p>定価：1143円+税</p> <p>発行：日経B P社</p> <p>日経B P社の建設関連媒体が新しい街づくりを提唱していくプロジェクト「プロジェクト エコロ・シティ」ITを使って湿地環境の復元に取り組んでいるNECと、アサザ基金の活動が、生態系保全/谷津田再生の事例として紹介されています。ぜひご覧ください。</p>
<p>2012年8月号no.833 世界</p> <p>定価：840円</p> <p>発行：岩波書店</p> <p>霞ヶ浦放射能汚染対策について、ジャーナリスト まさのあつこ氏が取材された記事が掲載されました。地域の条件に応じた自治体の責任について言及しています。ぜひ、ご覧ください。</p>	 <p>高等学校 生物基礎</p> <p>発行者：株式会社 第一学習社</p> <p>第5章「生態系とその保全」の中で土壌シードバンクを利用した再生事業の事例として、霞ヶ浦に水生植物を植え戻す小学生の取り組みの写真等が掲載されました。</p>
<p>農村計画学</p> <p>定価：3600円+税</p> <p>発行所：朝倉書店</p> <p>農村地域の活性化を計画するための基礎や原理、各地域での多様な実践事例を紹介する一冊。「流域レベルの循環型経済による湖の再生」と題し、アサザプロジェクトの基本的な理念について飯島が執筆していますので、ぜひご覧ください。</p>	 <p>最新図説 現社</p> <p>定価：848円+税</p> <p>発行所：株式会社 浜島書店</p> <p>NECとアサザ基金が協働で取り組む「NEC田んぼ作りプロジェクト」が高等学校の教科書の表紙になりました！NECの気象観測装置の技術を取り入れた取り組みなど、お互いの知恵やノウハウを生かしながら2004年から進めてきたプロジェクト。表紙の写真と共に、裏表紙には分かりやすく事業が紹介されています。</p>
<p>新しい公民</p> <p>定価：660円</p> <p>発行所：株式会社 浜島書店</p> <p>牛久市立神谷小学校の取り組みが、教科書に掲載されました。「わたしたちの生活と地方自治」の章に「子どもたちが提案するまちづくり」と題し紹介されています。神谷小学校では毎年4年生が一年を通し自然と共生するまちづくりについて学習し、市長や市の職員を招いて谷津田再生の提案発表会を行なっています。</p>	 <p>私たちの自然 2012年4月号 第53巻 No.575</p> <p>定価：500円</p> <p>編集・発行：公益財団法人 日本鳥類保護連盟</p> <p>トキと共に生きる社会づくり ～霞ヶ浦アサザプロジェクト～と題し、生物多様性の保全と水源保全を地域の活性化と一体となって進めていく事業の具体的な事例について飯島が書き下ろしました。子ども達も読んで理解できるよう、分かりやすく説明されています。</p>
<p>環境会計の倫理 kikyō:生き物に聞く生物多様性の尺度</p> <p>著：吉田 寛</p> <p>定価：3800円+税</p> <p>発行：東洋経済新報社</p> <p>地方自治体等の研修講師やアドバイザーとして高く評価されている筆者、吉田寛（アサザ基金役員）が生物多様性を象徴する「kikyō」という単位で自然環境を「承継財」として位置づけたこれまでにない革新的な理論書。詳しい書評はこちら。</p>	 <p>BE-PAL 2011年12月号</p> <p>定価：730円</p> <p>出版：小学館</p> <p>「ゲンキな田舎！グリーンツーリズム&ローカル・ビジネスの成功方程式を解く調査レポート」にて、飯島が2009年から授業に通っている三重県の山間部にある大紀町立七保小学校の取り組みが紹介されています。七保小学校では、過疎化によって荒廃してしまった茶畑を再生し、無農薬で栽培した茶をブランド化して販売するという活動を行っています。子ども達が地域の大人や企業を動かし、環境保全と地域活性化を同時に実現する取り組みです。『七保のお宝あたたかきずな茶』絶賛発売中！</p>
<p>日本企業にいま大切なこと</p> <p>定価：720円（税別）</p> <p>発行：PHP新書</p> <p>日本の経営者は「実践知のリーダー」であるとし、著者・野中郁次郎と遠藤功が海外に売り込める日本の価値観を語り合う一冊。「ソーシャル・イノベーション」として飯島が紹介され、東日本大震災復興に向けての先駆的なビジョンを発信する取り組みの必要性を筆者は語っています。</p>	 <p>社会教育・生涯学習ハンドブック第8版 社会教育推進全国協議会 編</p> <p>定価：4286円（税別）</p> <p>発行：エイデル研究所</p> <p>社会教育・生涯学習の多様な実践事例と豊富な資料を収録したハンドブック。新たな参加の場のしくみとNPO ボランティアという章の中でアサザプロジェクトが紹介されています。</p>
<p>中学校社会科地図</p> <p>定価：文部科学大臣が許可し官報で告示した定価</p> <p>発行：帝国書院</p> <p>霞ヶ浦の水利利用と環境保全活動の事例として、ピオトープなどで育てたアサザの里親制度が紹介されています。地図上には、霞ヶ浦流域での小中学校ピオトープ設置校が表示されており、アサザプロジェクトが流域全域まで及んでいる事がよく分かる地図となっております。</p>	<p>実践！体験！みんなでストップ温暖化④</p> <p>地域と家庭で！地球を守るエコ活動</p> <p>価格：2800円（税別）</p> <p>出版：学研教育出版</p> <p>地球温暖化を防ぐ地域の活動として、アサザプロジェクトが取り上げられています。アサザの植付けによって湖の自然を回復させる取り組みから、全国に広がる環境学習、小学生によるまちづくり提案など、子どもたちの取り組みによって広がっていくアサザプロジェクトがたくさん写真とともに分かりやすく紹介されています。他にも、地域や家庭でもできる、地球環境を守り、地球温暖化を防ぐさまざまな活動が紹介されていますので、書店でぜひ手にとってみてください。</p>
<p>国づくりと研修 (2011) No.128</p> <p>出版：財団法人全国建設研修センター</p> <p>「新しい公共」が切り拓く地域づくりの事例として、「一石何十鳥もの効果を生む新しい公共事業 市民型公共事業 霞ヶ浦アサザプロジェクト」が飯島の書き下ろしで掲載されています。</p>	 <p>つり人 (2011.2) No.776</p> <p>価格：980円（税込）</p> <p>出版：つり人社</p> <p>「霞ヶ浦に海水を呼び戻す」動きとして逆水門の柔軟運用に関するルポタージュが4ページにわたり掲載されています。今年は逆水門の柔軟運用提案に関して、土浦市議会、茨城県市議会議長会が全会一致で採択するなど大きな展開がありました。霞ヶ浦を世界一のウナギの産地にするための取り組みが詳しく紹介されていますので、釣りに関心をお持ちの方も、そうでない方もぜひお読みください。</p>
<p>イノベーションの知恵</p> <p>価格：1800円（税別）</p> <p>著：野中意郁次郎・勝美明</p> <p>出版：日経BP社</p> <p>「霞ヶ浦の奇跡」としてアサザプロジェクトの事例が紹介されています。アサザプロジェクトの他に、旭山動物園や葉っぱビジネスで有名ないろどり、JRのえきなか、京都の堀川高校、トヨタ自動車、再春館製菓など、9つのイノベーション事例が、「物語編」（勝美氏）と哲学的な考察を加えた「解釈編」（野中氏）で紹介されています。帯には、「アメリカ流の分析的な経営学の限界を乗り越える野中「知識創造理論」の新たな展開を9つの事例で開設。世のため人のための共通善経営に選れ！」と書かれています。経営学や哲学的な視点からアサザプロジェクトを考察した面白い書籍です。ぜひお読みください。</p>	<p>MISIA 星空のライヴVI</p> <p>ENCORE2010 International Tear of Biodiversity</p> <p>価格：3990円（税込）</p> <p>出版：Ariola Japan Inc.</p> <p>NHK BS-2でも放送されたMISIA 星空のライヴVIがDVDになりました！生物多様性国連名誉大使の歌手MISHAさんのコンサート映像を軸に、「生物多様性」をテーマに様々な場所をMISHAさんが訪れ、生物学者や専門家からの「生物多様性」についてのコメントを交えた内容となっています。MISIAさんの音楽を聞きながら、すばらしい自然の映像を見ながら、生物多様性について考えることができる素敵な作品です。飯島も出演していますので、ぜひご覧ください。</p>
<p><図解>生物多様性と現代社会 「生命の環」30の物語</p> <p>価格：1900円（税別）</p> <p>著：小島望</p> <p>出版：農文協</p> <p>「生物多様性の保全とこれからのわたしたち」という章でアサザプロジェクトが紹介されています。生物多様性の保護の必要性や課題が、分かりやすく説明されている一冊です。</p>	 <p>BE-PAL 11月号</p> <p>価格：530円（税別）</p> <p>出版：小学館</p> <p>「ゲンキな田舎！生物多様性社会の時代到来。自然系NPOの次なるミッションは？」にて飯島のインタビュー記事が掲載されています。たのしい写真も盛りだくさんですので、ぜひ書店で覗いてみてください。取材のこぼれバナナを、鹿熊主任研究員のブログ「B級田園生活日記」で読むことができます。</p>
<p>社会を動かす企画術</p> <p>価格：670円（税別）</p> <p>著：小山薫堂</p> <p>出版：中公新書ラクレ</p> <p>「社会に種を蒔く人たち」のひとりとして飯島が紹介されています。社会に「自分の蒔いた種で幸せになる人がつなげていくなんで、こんなに素敵なことはありません（はじめにより）」という筆者による、たくさんの「種を蒔く人」の紹介と、「しあわせの連鎖」について書かれた元気のでる一冊です。</p>	<p>「社会に役立つ」を仕事にする人々社会起業家という生き方</p> <p>価格：1400円（税別）</p> <p>著：古堂敏郎</p> <p>出版：洋泉社</p> <p>「環境保護」を仕事にする、という切り口から、アサザプロジェクトの考え方やこれまでの経緯が分かりやすく紹介されています。アサザプロジェクトの概要だけでなく、飯島の考え方や勉強方なども垣間見える内容となっています。</p>
<p>「魔法じゃないよ、アサザだよ」の霞ヶ浦再生プロジェクト</p> <p>価格：1300円（税別）</p> <p>作：多田実</p> <p>絵：さかいひろこ</p> <p>出版：合同出版</p> <p>アサザプロジェクトを題材とした初めての児童書です。作者の多田実さんは、アサザプロジェクトを開始当初からずっと追いかけているルポライターです。子どもの視点から自然をとらえ、アサザプロジェクトを子どもにも、大人にも分かりやすく紹介してくれています。</p>	<p>「広がれアサザの夢～百年後にトキが舞う霞ヶ浦を～」</p> <p>(DVD)</p> <p>価格：3000円（税込）</p> <p>(アサザ基金会員価格：2500円)</p> <p>雅典</p> <p>語り/竹下景子企画 制作/NPO法人アサザ基金、群像舎</p> <p>1995年に発足し、流域の小中学校をはじめ、市民、企業、行政など、13万人が参加したアサザプロジェクトをまとめたDVD作品です。ナレーションは女優の竹下景子さんが担当しています。第48回科学技術映像祭では文部科学大臣賞を受賞いたしました。現在ますます広がるアサザプロジェクトの歴史をじっくりと見ることのできる作品です。ぜひご覧ください。</p> <p>※DVD購入のお問合せはアサザ基金事務局までお願い致します。</p>